

# 要配慮者利用施設における 避難訓練チェックリスト

- ◆平成29年の水防法改正において、浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設(市町村地域防災計画に定められた施設)の管理者等は、「避難確保計画の作成」と「避難訓練の実施」が義務化されています。
- ◆本チェックリストは、「水害を想定した避難訓練」を効果的に実施するために、自治体から施設への資料提供により避難訓練の促進を図ることを目的としております。

避難訓練チェックリストは、共通訓練【必須】と【選択編】から構成されています。

□共通訓練【必須】: 台風発生以降の情報収集から避難開始の判断までを行う訓練

□【選択編】: 避難に関する様々な段階の防災行動の訓練

- ・共通訓練【必須】は、全施設において大切・必要な判断(避難開始)の訓練として、刻一刻と変化しながら流れてくる気象情報等を確認しながら、「施設にとって適切なタイミング」を考えるためのチェックリストとなっています。
- ・【選択編】は、避難の各段階で必要と考えられる様々な防災行動について、例示等も参考に、いざという時の行動を確認するチェックリストとなっています。各施設にとって大切と考えられる項目を選択して取り組めるようにしております。

- 目標を定めて(目的を意識して)自分達なりに訓練すること
- 災害が起きそうなときの状況をイメージしてみること
- できることから始めること

- ◆ チェックリストは、水害時に一般的に想定される状況や必要と考えられる訓練項目についてまとめたものですが、各施設の状況(入所者や職員の状況など)に応じて、自分達なりに訓練することが大切です。
- ◆ いざというときに冷静な判断が出来る人は多くありません。災害時に発生しそうなことを【イメージすること】を意識しながら実施することが重要です。
- ◆ 災害時に必要な対応に、「万能な正解」はありません。また、災害は想定どおりには発生してくれません。「できること」と「できないこと」も、実際に確認していただくことが大切です。災害時に必要な対応に、「万能な正解」はありません。また、災害は想定どおりには発生してくれません。「できること」と「できないこと」も、実際に確認していただくことが大切です。

1. 段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動』をイメージしてみましょう。
2. 避難訓練の内容を知る
3. 「共通訓練【必須】」を実施する
4. 「選択編」の訓練を実施する
5. 避難訓練計画を作成する
6. 避難訓練実施報告書を提出する

# 1. 段階的に発表される防災情報と

## 『要配慮者利用施設の主な行動』を

イメージしてみましょう。



### 『参考動画』

MLIT channel動画「要配慮者利用施設の避難確保計画の作成について」

【第3部】避難に必要な時間の把握と避難開始のタイミングの判断(約7分)

<https://youtu.be/LOMH0sXbCAY>

# 段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

警戒 レベル	1	2	3	4	5
雨の 様子	<p>警報・注意報 に先立ち発表 (警報・注意報を補完)</p> 	<p>災害の起こるおそれ</p> 	<p>重大な災害の起こるおそれ</p> 	<p>重大な災害の起こる おそれが著しく大きい</p> 	<p>災害発生</p>
防災 気象情報		<p>氾濫注意情報</p> 	<p>氾濫警戒情報 洪水警報</p> 	<p>氾濫危険情報</p> 	<p>災害発生情報</p> 
避難 情報等	<p>早期注意情報 (警報級の可能性)</p>	<p>大雨注意報 洪水注意報</p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>	<p>避難勧告 (避難指示(緊急))</p>	<p>災害発生情報</p>
施設 の行動	<p>情報収集</p> 	<p>心のスイッチ ⇒防災モード</p> <p>避難開始</p> 	<p>避難完了</p> 		

# 段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

**警戒レベル**

**1**

**警報・注意報に先立ち発表(警報・注意報を補完)**

**雨の様子**

**防災気象情報**

**川の様子**

**避難情報等**

**早期注意情報**  
(警報級の可能性)

**施設の行動**

**情報収集**

## 【入手する防災情報】

## 早期注意情報

※気象庁ホームページ



### 翌日早朝にかけて警報級の可能性[中]となるケース

種別	1日	2日				
	明け方まで	朝～夜遅く	3日	4日	5日	6日
大雨	18-6	6-24	-	-	-	-
大雪	[中]	-	-	-	-	-
暴風(暴風雪)	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-

今夜、大雨警報が発表されるかもしれない。参集する職員に声をかけておこう。



### 次の日に警報級の可能性[高]となるケース

種別	1日	2日				
	明け方まで	朝～夜遅く	3日	4日	5日	6日
大雨	-	6-24	-	-	-	-
大雪	-	[高]	-	-	-	-
暴風(暴風雪)	-	[高]	-	-	-	-
波浪	-	[高]	-	-	-	-

明日、警報が発表される可能性が高い。避難準備・高齢者等避難開始を発令する事態となるかもしれない。手順を確認しておこう。



[高]のときは、気象警報等で詳細な時間帯などを確認する。

気象警報等

〇〇県気象情報

## 【施設の防災イメージ(例)】

- ◆【避難確保計画】の確認
  - ・ハザードマップ、避難先、避難経路
  - ・避難行動の目安となる防災気象情報等
  - ・市町村からの避難情報等の伝達方法
  - ・役割分担、避難に必要な資器材、備蓄品



# 段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

**警戒レベル 2**

**災害の起こるおそれ**

雨の様子

防災気象情報

川の様子

避難情報等

大雨注意報  
洪水注意報

施設の行動

心のスイッチ ⇒ 防災モード

**【防災情報入手】**

指定河川洪水予報 検索

気象庁  
Home 防災情報 各種データ

指定河川洪水予報 印刷 再読み込み

地方	発表状況
北海道	発表済み
東北	発表済み
関東甲信	発表済み
北陸	発表済み
東海	発表済み
近畿	発表済み
中国	発表済み
九州北部	発表済み
九州南部	発表済み
沖縄	適用していません

クリック

鎌川水系鎌川中流部 PDF形式(28KB)	氾濫注意情報	令和2年07月14日 08時30分
鎌川水系鎌川上流部 PDF形式(28KB)	氾濫注意情報解除	令和2年07月14日 17時50分
鎌川水系鎌川下流部 PDF形式(40KB)	氾濫注意情報(暫定情報)	令和2年07月14日 14時20分
鎌川水系鎌川上流部 PDF形式(45KB)	氾濫注意情報	令和2年07月14日 08時40分
佐家川 PDF形式(14KB)	氾濫注意情報解除	令和2年07月14日 08時25分
佐家川 PDF形式(17KB)	氾濫注意情報	令和2年07月14日 08時40分
佐家川 PDF形式(18KB)	氾濫注意情報	令和2年07月14日 02時40分
櫛野川水系櫛野川 PDF形式(37KB)	氾濫注意情報解除	令和2年07月14日 10時25分
櫛野川水系櫛野川 PDF形式(38KB)	氾濫注意情報	令和2年07月14日 02時15分

表の黄色：氾濫注意情報

気象警報 注意報 検索

**【施設の防災イメージ(例)】**

◆ 雨や水位の情報収集

氾濫注意水位に到達しているし、雨もやまないので避難判断水位まですぐ到達しそう。

心のスイッチを入れる段階

◆ 施設責任者への報告

川の水位がキケンです

避難開始に向けた準備を進める段階

施設の体制を整えてください。避難のための準備をお願いします。

- 前日の休園や休業の判断
- 従業員の職員参集
- 避難のための準備 など

# 段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

警戒  
レベル

# 3

雨の  
様子

## 重大な災害の起こるおそれ

防災  
気象情報

## 氾濫警戒情報 洪水警報

川の  
様子

避難  
情報等

## 避難準備・ 高齢者等避難開始

施設の  
行動

## 避難開始

## 【防災情報入手】

指定河川洪水予報

気象庁  
ホーム 防災情報 各種デー

指定河川洪水予報

地方 [全国]

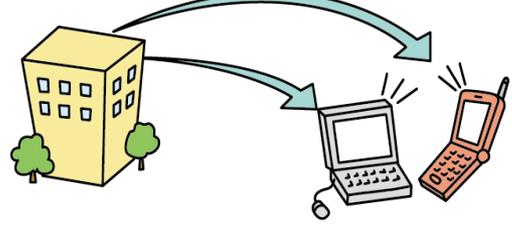
地方	発表状況
北海道	発表なし
東北	発表なし
関東甲信	発表なし
中部	発表なし
東海	発表なし
近畿	発表なし
中国	発表なし
四国	発表なし
九州北部	発表なし
九州南部	発表なし
沖縄	適用していません

クリック

鎌川(水添)鎌川(中)流域(EDF形式1,40KB)	氾濫警戒情報	令和02年07月14日10時55分
鎌川(水添)鎌川(中)流域(EDF形式1,40KB)	氾濫警戒情報	令和02年07月14日06時20分
鎌川(水添)鎌川(中)流域(EDF形式1,40KB)	氾濫警戒情報	令和02年07月14日04時50分
鎌川(水添)鎌川(中)流域(EDF形式1,38KB)	氾濫注意情報	令和02年07月14日03時30分
鎌川(水添)鎌川(下)流域(EDF形式1,38KB)	氾濫注意情報解除	令和02年07月14日17時50分
鎌川(水添)鎌川(下)流域(EDF形式1,40KB)	氾濫注意情報(警戒情報解除)	令和02年07月14日14時20分
鎌川(水添)鎌川(下)流域(EDF形式1,43KB)	氾濫警戒情報	令和02年07月14日08時40分
佐家川(EDF形式1,44KB)	氾濫注意情報解除	令和02年07月14日08時25分
佐家川(EDF形式1,47KB)	氾濫警戒情報	令和02年07月14日03時40分

表の赤色：**氾濫警戒情報**

避難準備・高齢者等避難開始



市町村からの  
・防災情報メール  
・電話、fax など

## 【施設の防災イメージ(例)】

- ◆ 施設責任者への報告 (氾濫の危険性)
- ◆ 避難判断・避難指示
- ◆ 従業員への説明
- ◆ 館内放送 (避難開始)



避難  
開始

## ◆立退き避難 (水平避難)



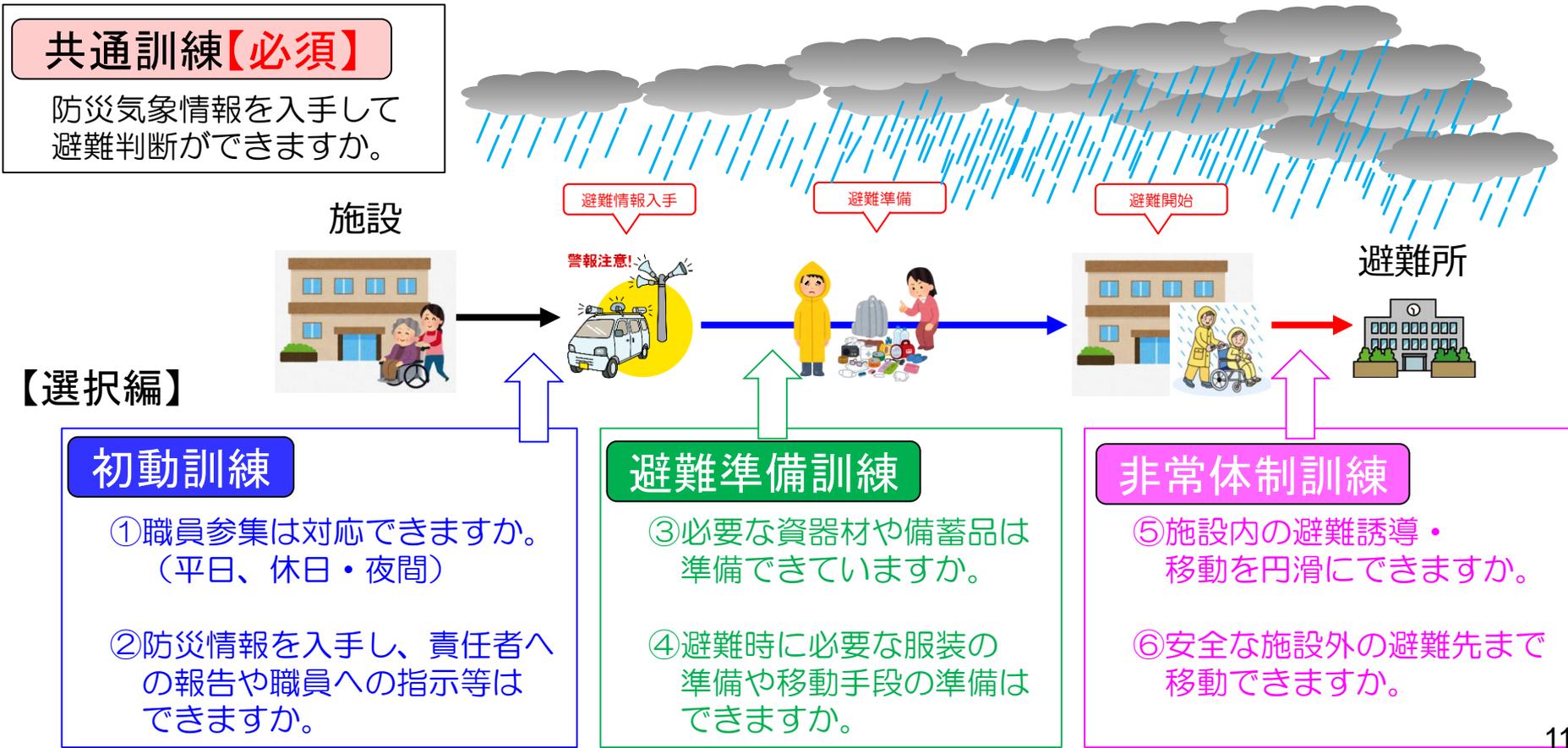
## ◆屋内安全確保 (垂直避難)



## 2. 避難訓練の内容を知る

# 避難訓練の内容

- ◆避難訓練は、気象情報を確認し、避難判断を行うための「共通訓練【必須】」に加え、【選択編】として、体制を整える「初動訓練」と避難するための「避難準備訓練」、避難行動を行うための「非常体制訓練」があります。
- ◆「共通訓練【必須】」は、避難判断のための重要な訓練ですので、必ず実施してください。
- ◆共通訓練【必須】に加え、施設状況に応じて、できる訓練から実施してください。



## 【選択編】

### 共通訓練【必須】

- 管理者及び従業員等にて、防災気象情報の確認訓練



### 初動訓練

- 管理者等への状況報告訓練



- 職員参集訓練



### 避難準備訓練

- 避難に必要な備品等の確認訓練



### 非常体制訓練

- 避難先への移動訓練（立退き避難訓練）



- 施設内の屋内安全確保（垂直避難訓練）

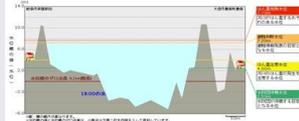


### 3. 「共通訓練【必須】」を実施する

# 避難訓練チェックリストの使い方

## ◆ 訓練目標の設定が重要です！

- 避難は想定しているより時間がかかります。
- 訓練目標を決め、訓練結果を振り返り、避難計画を見直しましょう。
- 災害は想定どおりには発生しません。様々な状況をイメージすることが必要です。
- 避難訓練では、訓練時間を計測し、訓練後の見直しや工夫が重要です。

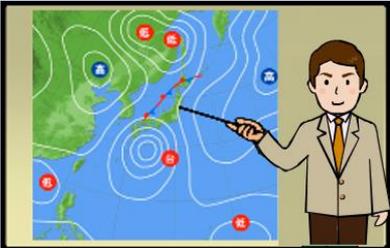
実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>■ 訓練開始</p> <p>訓練①: 気象情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビのdボタン(NHK)を確認する。</li> <li>・気象庁のホームページを確認する。</li> <li>・気象台のホームページを確認する。</li> <li>・防災情報メールを確認する。</li> <li>・市町村ホームページを確認する。</li> <li>・ラジオから情報確認する。</li> </ul> 	<p>(例) 様式3で整理した気象情報について、操作に迷わず円滑に確認する</p> <div data-bbox="1120 628 1516 756" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px;"> <p>記載例やヒント集を参考に施設状況に応じた「訓練目標」を設定し、記入してください。</p> </div>		
□	<p>訓練②: 河川水位情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「川の防災情報」を確認する。</li> <li>・河川事務所の水位情報やライブカメラの情報を確認する。</li> <li>・防災情報メールを確認する。</li> </ul> 	<p>(例) 様式3で整理した洪水予報・河川水位について、操作に迷わずに確認する</p> <div data-bbox="1342 835 1748 935" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px;"> <p>訓練後に結果(目標達成状況)を記入してください。</p> </div>		
□	<p>訓練③: 責任者に台風や河川水位の情報を報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風の影響予測を報告する。</li> <li>・現状の水位情報を報告する。</li> </ul>  <p>川の水位がキケンです</p>	<p>(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える</p> <div data-bbox="1342 1056 1690 1120" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px;"> <p>訓練の担当者を記入する</p> </div>		
□	<p>訓練④: 責任者が「心のスイッチを入れる」判断と必要な指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の状況、今後の予測情報を踏まえ、施設内の防災体制に移行するための決断を行う。</li> </ul>  <p>施設の体制を整えてください。</p>	<p>(例) 職員は様式12に沿った役割を確認する</p>		
□	<div data-bbox="415 1349 1062 1413" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px;"> <p>施設独自の訓練項目があれば行を追加してください。</p> </div>			

# 避難訓練実施後に振り返りポイント

1. 設定した「訓練目標」は達成出来ましたか？
2. 訓練でよかったことや得られたことは何でしたか？
3. 避難にかかった時間は、事前の見込みのとおりでしたか？  
(見直しをする必要はありませんか)
4. 改善が必要な施設の体制はありませんでしたか？
5. 避難確保計画で見直しや追加が必要な項目は何でしたか？
6. 本当に災害が発生しそうになったときに、施設利用者や職員は、助かることができそうでしょうか？

⇒訓練参加者全員で振り返りを実施しましょう！

# 【共通訓練】: 防災体制の確認(1)【情報の収集・報告・判断訓練】

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>■ 訓練開始</p> <p>訓練①: 気象情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビのdボタン(NHK)を確認する。</li> <li>・気象庁のホームページを確認する。</li> <li>・気象台のホームページを確認する。</li> <li>・防災情報メールを確認する。</li> <li>・市町村ホームページを確認する。</li> <li>・ラジオから情報確認する。</li> </ul> 	(例) 様式3で整理した気象情報について、操作に迷わず円滑に確認する		
□	<p>訓練②: 河川水位情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「川の防災情報」を確認する。</li> <li>・河川事務所の水位情報やライブカメラの情報を確認する。</li> <li>・防災情報メールを確認する。</li> </ul> 	(例) 様式3で整理した洪水予報・河川水位について、操作に迷わずに確認する		
□	<p>訓練③: 責任者に台風や河川水位の情報を報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台風の影響予測を報告する。</li> <li>・現状の水位情報を報告する。</li> </ul> 	(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える		
□	<p>訓練④: 責任者が「心のスイッチを入れる」判断と必要な指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の状況、今後の予測情報を踏まえ、施設内の防災体制に移行するための決断を行う。</li> </ul> 	(例) 職員は様式12に沿った役割を確認する		
□				

# 【共通訓練】: 防災体制の確認(2)【情報の収集・報告・判断訓練】

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>訓練⑤: 避難準備・高齢者等避難開始などの避難情報を確認し、責任者に報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村ホームページから避難情報を確認する。</li> <li>・河川の水位情報を確認し、避難判断水位に達していないか、到達するおそれがないか確認(予測)する。</li> </ul>  <p>避難情報が発令されました</p>	(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える		
□	<p>訓練⑥: 責任者が避難開始を判断し、指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報、河川水位情報に応じた対応(様式2)の指示を行う</li> </ul> <p>⇒どのような気象情報、水位情報のときに、どのような対応をすべきか判断・指示することが大事です。</p>  <p>避難を開始しますので、車の手配をお願いします。</p>	(例) 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、職員に避難開始を指示する		
□	<p>訓練⑦: 施設利用者への説明を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を行うことについて、利用者の状況に応じて、適切な説明を行う。</li> </ul> <p>⇒移動することを別な表現(散歩など)で説明することも工夫の一つです)</p>  <p>避難場所まで避難します</p>	(例) 訓練を行うことの説明をわかりやすく説明する		
□				

【訓練時における課題や気づき】

## 【ヒント集】

- ・常に天気やニュース(特に台風時)をチェックするようにしている。
- ・大雨が予想される場合は気象情報を近隣施設と伝え合うようにしている。
- ・インターネットでの情報収集で、ブックマークの登録やデスクトップ上にアイコンを追加するなどにより、簡単にアクセスできるようにしている。
- ・「川の防災情報」のライブカメラ映像を活用している。
- ・天気予報確認後、園児の登園を園長が決定し、事前に保護者にメール配信している。
- ・施設独自に、目安となる河川水位を設定している。(事例紹介参照)
- ・停電でテレビや携帯等が使用できない可能性を踏まえて、ラジオやトランシーバー等を準備している。

## 事例：施設独自の水位標を設置して避難判断のタイミングを確認

特別養護老人ホームAは、川沿いに施設があるため、市の協力を得て、施設前の護岸に水位ラインを引いて、災害対策本部を設置する水位(警戒水位)と避難行動の開始水位(避難判断水位)を設定しています。

平成25年秋田・岩手豪雨では、この水位標にもとづき避難行動を開始した結果、施設利用者全員が無事に安全な場所に避難できました。

